

組み立てを考えて物語を書こう

めあて

「三年とうげ」 李 錦玉 作

後半の部分に、何がどのように書かれているか読み取ろう。

③ 出来事（事件）がへん化する。

（何が）

トルトリを拡大した絵

水車屋のトルトリの登場
「おいらの言うとおりにすれば、おじさんの病気はきつとなおるよ。」
「なおるとも。…。」

（どのように）

○ 新たな人物が登場し、解決に向かう言葉を使う。
□ 会話を表す文

何を思いついた「三年とうげでもう一度転ぶこと。」

④ むすび

（何を）

おじさんが楽しそうに転んでいる絵

動作 はね起きる
わざとひっくりかえり、転ぶ。
とうげからふもとまで転がり落ちてしまった。
顔 けろけろけろっとした

（どのように）

○ 出来事がかい決する。
□ 終わり方としたということです。

さい後どうなった

「三年とうげで何度も転び、元気になって、幸せにくらした。」

読者への問いかけ

聞こえてきた歌は、だれが歌っていたのか？

【5 / 12 時間目 指導略案】 使用するワークシート⑤
活動のねらい

後半の部分に、作者が何をどのように書いているのかを読み取らせる。

1 学習計画表から本時のめあてを確認し、学習の見通しをもつ。

○ 「出来事（事けん）が変化する」部分と「むすび」の部分を読んで、作者が何をどのように書いているかを調べさせる。

2 「出来事が変化する」部分を読み、書き方を考える。

① 何について書かれているか、文中の叙述を基に発表する。

【発問】「出来事が変化する」部分には、どんなことが書かれているでしょう。

・水車屋のトルトリが、みまいに来ました。

・「おいらの言うとおりにすれば…、きつとなおるよ。」

○ 発表を黒板に整理し、作者は、新たな人物を登場させ、解決に向かう言葉を言うように書いていることをおさえる。

② どのように書かれているか、表現の工夫を考える。

・「なおるとも。三年とうげで、もう一度転ぶんだよ。」

□ 会話を表す文。

3 「むすび」の部分を読み、書き方を考える。

① 何について書かれているか、文中の叙述を基に発表する。

○ 作者は、出来事（事件）が解決するように書いていることをおさえる。

② どのように書いているか、表現の工夫を考える。

・「くしたということです。」

□ 民話・昔話によく使われる終わり方。（読者への問いかけ）

評価 後半の部分に、作者が何をどのように書いているかをワークシートに整理しながら読み取っている。

4 本時を振り返り、次時について知る。

○ 次時は、同じような組み立ての物語があるか調べることを確認する。